



会長挨拶

一層の発展のために

会長 八木橋祥价



に成りました昭和33年紡織科卒業の八木橋祥价でございます。元より、未熟者であります。副会長をはじめ同窓会のみならず、又、事務局の先生方のお支えを頂き、伝統ある桐生同窓会の一層の発展の為に全力を傾注して行く所存でありますので今後共々ご理解ご協力としてご指導を頂きますようお願い申し上げます。

さて、我、桐生同窓会は歴代の会長をはじめ役員のみならずのご努力と同窓会員の協力により他に例をみない質の高い活発な同窓会として発展を遂げてまいりました。その要因は桐生市内支部はもとより、遠人関西、中部、静岡の各支部をはじめ県内外多くの支部組織と活発な支部活動であります。同窓会活動の目的は会員相互の親睦と母校桐生の教育振興に寄与することであり、この目的を達成する為にみなさん共々力を合わせ努力をしていきたいと思います。

今年度は昭和9年に本校が開校されて以来、創立70周年を迎えた記念すべき年であります。今春、記念事業として母校へマイクロボスを贈呈いたしました。さらに、特記すべきはこの記念すべき年に、アテナ五輪男子マラソンに平成7年に本校卒業の同窓生であります諏訪利成君が日本代表として出場見事6位に入賞したことでもあります。この快挙は在校生に勇気と希望を与え、私共同窓会としても大変な名誉と誇りであり、次に、同窓会運営のもと成る財政について皆さまにご理解を頂く為に申し上げます。平成17年度4月より少子化の影響で本校も一クラス減少することが県の方針により決定されました。同窓会運営の最大の収入源は生徒の入学時の入金と卒業時の会費であります。一クラス減は約40人分の収入減になり今後の会運営に多大な支障が生じることとなります。この為、同窓会運営の見直しと財政改革を進めていくことが急務であります。今後共々会員皆さまの絶大なご理解とご協力を切にお願い申し上げます。念申し上げ会長就任の挨拶とさせていただきます。

編集発行 第16号
群馬県立桐生工業高等学校
TEL (0277) 22-7141
FAX (0277) 46-4703
同窓会事務局 編集部
群馬県山田郡大間々町大間々2271
TEL (0277) 73-5555
印刷 株式会社大間々印刷

この度、去る6月の総会において池田前会長の後任として、

引き受けること

校長挨拶

「同窓生の皆様へ」

校長 富澤弘幸



同窓会の皆様方には、日頃より母校に對するご支援・ご協力を頂き、感謝を申し上げます。

さて、私も、この度の人事異動により、本校第17代校長を命ぜられ、早くも半年が過ぎようとしております。現在では、多くの先輩方が築きあげて下さった、伝統ある桐生工業高等学校に着任できましたことを誇りに思うと同時に、大きな責任を感じているところであります。今後は、本校としての理念や立場を見失うことなく、21世紀の担い手となる生徒を育成して行きたいと考えております。

本校は、創立以来、地元に着着した工業高校として数多くの中堅技術者を養成すると共に、地域の産業界にも大きな役割を果たしてまいりました。

今年度、70周年を迎える事ができましたのは、本校に対して、創立から今日に至るまで、多くの方々から温かいご指導やご助言を頂いたお陰だと思っております。それと共に、多くの先輩方が、本校で学んだ知識や伝統を生かしながら各分野において活躍され、立派な工業高校に育てあげて下さった力が最も大きいと考えています。今後は、これからの桐生の新たな出発に向けた取り組みを行いながら、更なる発展をも視野に入れた努力をしていかなければ成らないと思っております。同窓生の皆様方には、本校に対して、これからも温かいお心でご指導頂ければ幸いです。

開校記念講演会

- 演題「桐工魂を心の支えとして」
- 講師 尾池康雄先生

昭和35年に本校紡織科を卒業し県内の数校で教職を務め平成10年12年の2年間は本校の学校長を歴任され、現在はものづくり大学参与として活躍されている尾池先生をお招きし記念講演会が5月1日に開かれました。在学中に培われた桐工魂を支えに何事にも挑戦された熱い想いを話されました。



総会

右記、期日、会場において平成16年度同窓会総会が137名の会員の方々に集まりいただき開かれ、一部総会議事、二部記念講演会、三部懇親会の三部構成で今年も進行されました。一部総会では池田会長を議長に、平成15年度事業報告・会計報告・監査報告・支部状況報告・桐生会館等管理基金・規程改正、又、マイクロボス寄贈報告を始め、平成16年度事業計画案・予算案・役員改選案が次々と承認されました。

一部・総会議事

任期中、最後の議長を務める池田前会長。



二部・記念講演会

演題「海外での繊維技術指導を通しての感想」として講演される日本繊維技術士センター理事でもある藤掛様。



三部・懇親会

懇親会で、「浮世絵の女」を披露する歌手早川晃司さん(S45建設)



草木進。作曲はS44電気の川井のぼるさん。

その他一部総会では、厚生労働大臣表彰村田永昌(S29紡織卒)副会長に同窓会表彰、諏訪利成選手五輪出場壮行会のご案内等があり終了。二部講演会ではS23機械卒の藤掛健治先生よりお話を頂き、三部懇親会では同窓生である歌手・作曲家をお招きし皆で歌を楽しみました。

新旧本部役員挨拶

本部役員の改選にともない新旧の役員様より挨拶を頂きました。



新副会長
藤生 高正
(昭和30年 色染科)

伝統ある桐生工業高等学校同窓会の副会長に就任する事になり、今更ながら責任の重さを痛感致しております。微力ではありますが、同窓会発展の為に少しでも貢献できれば幸いと存じます。(ご支援ご協力の程お願い致します。)



新副会長
篠原 章
(昭和41年 建設科)

今年度より副会長を仰せ付かりましたが、卒業して40年になろうとするなかで、日本の高度成長を支えて来た卒業生の皆様の夕テの糸、ヨコの糸の連絡係が出来ればと思っております。微力ではあります。精一杯務めさせて頂きま



新副会長
野村 滋
(昭和42年 建設科)

一番若い副会長だと思えます。高度成長期、社会資本の整備が急務とされていた時代に誕生した建設科の卒業です。色染や紡織、機械、電気科の先輩諸兄の仲間入りとなりました。
八木橋会長の元で微力ながら一生懸命務めさせて頂きます。

感動・感激をありがとう！

前会長 池田 光二
(昭和22年 紡織科)



本年6月の総会で、同窓会長を退任させて頂きました。在任中は楽しく

充実した毎日でした。ほんとうに有難うございました。

同窓会の目的は、一、同窓生の親睦 二、母校の教育振興です。これを達成するため本校同窓会は、各地に支部を組織し活動しています。これは桐工同窓会が他校に誇る特色です。会長として各地の支部を訪問し、親しく同窓生と懇談する機会を得ましたが、どの支部を訪問して本校同窓生の素晴らしさをいつも実感しました。人生の価値は、「異なった種類の、優れた質の感動をどれほどしたか」と言われます。同窓会で得たこの感激感動は、わたしにとって貴重な経験で、終生の宝となりました。さらに、会長在任中に桐工創立70周年を迎えたこと、財政面の改善と、支部活性化にいささか貢献できたことはたいへんな喜びでした。

モノ造りは国家成立の基本です。だから桐工の前途はさらに洋々です。一方、少子化に伴う学級数の減少で、同窓会財務への影響や、同窓会の年齢差の拡大に伴う問題もあります。そのため同窓会の活躍は欠かせません。これからの同窓会へ切に期待する次第です。
田一枚植えて立去る柳かな 芭蕉

素晴らしい出会いの桐工同窓会

前副会長 北川 貞彦
(昭和27年 機械科)

同窓会の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。今度、副会長を退任いたしました。その間6年編集委員や地区の同窓会、入学式や卒業式、ゴルフコンペ、総会等種々参加させて頂きました。その出会いから交流が生まれ楽しい、意義ある同窓会を実現する事が出来ました。素晴らしい桐工同窓会が今後とも末永く発展します様に願っております。

退任に当り大変お世話になりました。学校と事務局、編集委員の先生活方、同窓会役員、会員の方々に厚くお礼申し上げます。今後とも皆様方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

前役員の方には感謝状を贈呈しました。写真(上)北川氏、(下)中野氏



新役員の方々です。よろしくお祈りします。

県外支部だより

関西支部

昭和22年紡織科
坂田 弘



只今コッテます。3年前高齢者生涯スポーツの一環としてベタタンクなるスポーツが導入されました。当初は市ベタタンク協会員は60名程で発足したが現在100名強と拡大の途上にある。
本年は高齢者スポーツの祭典ネリンピックが群馬県で開催となり、ひとつ奈良県代表にでもなつて錦を飾ろうと準備おさおさ急ぎなくタンベルを購入。手首とまたウォーキングによる足腰の強化にと6月の県予選大会に備えたが所詮意気込みだけの輩。井の中の蛙は井戸から這い上がることはできず夢は儚く消え去ったが、それにもめげず地域の同輩達と1回/週酷暑の中練習に雑談に耽っている現在です。

中部支部

昭和36年紡織科
大島 正義

現在、プロ野球は球団合併などを含め色々騒がしくなつて参りましたが、これに因み私と野球の関わりについて少し述べてみたいと思ひます。私は小学校の頃から野球を始め、中学・高校・社会人と野球一筋でやって参りました。そのお陰かも知れませんが、60才を超えた今でも、地域において野球、ソフトボール等を一般の若者に混じつて楽しくプレーさせてもらっています。野球!!それは私にとって勝負の厳しさや面白さは言うに及ばず、先輩・後輩、チームワークなどの人間関係、ガマン、体力の大事さ、人生の生きざま等々数々多くの事を教えてくれました。何のとりえも無い私ですが、結果としてこの素晴らしい野球を生涯スポーツとして選んだ事を改めて喜び、感謝している今日この頃です。

静岡支部

昭和28年機械科
松村 元夫

静岡県支部も設立より、はや8年となりました。その間、会員数の増加は1名と少なく、足踏み状態の現状ですが、毎年の定例総会も開催地を変えたり、中部支部との合同等工夫し、内容も充実してまいりました。明年の第9回総会を楽しみにされている会員も多いのではないのでしょうか。さて今回から会員紹介を随時行つてまいります。始めは支部相談役でありまして14Wの大澤房次郎先輩であります。栄えある桐工創立一周年の大澤先輩は、当支部の設立に最も尽力され、今日の支部を築き、大いに貢献下さいました。運営についての事や、会員啓蒙の事等に、常に助言、アドバイスを頂き大いに役立っております。時には厳しい叱咤もありましたが、



私共支部の誇りの大先輩です。



静岡県支部 大澤相談役
私共支部の誇りの大先輩です。

埼玉支部

昭和23年 色染科
松下 倣也

平成15年度の埼玉支部は昨年度同様、より多くの会員の参加を目標に支部活動を企画しました。先づ支部ゴルフ大会は第4〜8回と開催し、第6回は内山峠、神津牧場、佐久への旅行組も加わり秋季懇親会を開催しました。又当支部より本部総会に6名、本部ゴルフ大会にも6名出席、とうらい埼玉だより20・21号を発行しました。

本年の3月14日には、大宮ゆの郷で第12回支部総会を本部、学校よりの来賓にご出席を頂き、計15名で開催しました。又当支部会員で東京都在住の大須賀一雄氏が5月に大丸デパートに於いて、氏の素晴らしい水彩画の個展が開催された。



群馬県立桐生工業高等学校同窓会
第12回埼玉支部総会

近接支部だより

第十一支部

昭和20年 色染科
兵藤 修一

平成15年に役員改選をしました。支部長は私、副に正田重男、高野信彦、会計に副兼の正田、監査に竹内準一郎、書記に砂孟宏、顧問に下山敏司、岡部純明と決まりました。今年は、3月12日に磯切そば「まつもと」で支部幹事会(出席者20名)を開きました。砂孟書記の努力で平成12年の資料を基に会員の正確な把握をしました。17年度版同窓会名簿で追加と補正をすることに決まりました。多分800名位になると思います。又、毎年12月に桐雷発行に合わせ、幹事会を開き配布をお願いし、合わせて連絡、懇親を深めるよう決まり賑やかな一夜を過ごしました。今後とも支部発展の為、役員の皆様と一緒に努力したいと思います。

第十七支部

昭和28年 紡織科
星野 利男



今年の夏は非常に暑い日が続いていますが、この数年桐生市の夏の風物として大勢の市民やカヌーラマンに親しまれ喜ばれた桐生川の友禅流しですが、梅田の山を背に作業をしていただいたが常任幹事の岩崎朝七(32W)氏でした。今年には体調をくずし中止になりましたが、来年はまた伝統産業を復活していただきたいと思っております。今年度は5月15日に役員会を開き、6月の総会への出席依頼と支部総会を11月12日に開催することを決定しました。また常任幹事が1名空席になっていましたので人選をいたしましたので人選を、初山和雄(32M)氏にお願いすることにになり、本人の承諾を得て事務局へ報告することが出来ました。

第十八支部

昭和37年 紡織科
小林 宏光



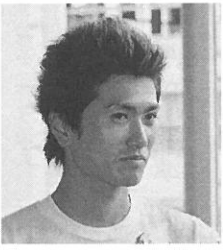
本町6丁目NPO法人桐生産地乃店を開いています。店頭で手織をしたり、職人が刃物直しをしています。多くの人に街を歩いてもらう切っ掛けとしたいのです。今、街は閑散とし、地場産業も衰退を続けていて、時代の流れだけではすまされない状況です。誰かがやらなければいけません。桐生まつりの七夕飾りや、デザイナーとの交流から始まった、西宮神社でのファッションショーも、活性の発火点になることを信じて行っています。火の車ですが市民活動の原点を忘れず行政とは距離を置いて独自で運営しています。母校との交流も考えているところです。

親善ゴルフ大会

第13回親善ゴルフ大会が途中、雷雨でかなり強い雨が降ったりやんだりの中、171名の参加者を迎え、桐生C.C.において平成16年8月25日(水)に開催されました。大会は例年にならい支部対抗、個人対抗(グロス)と様々な形で入賞を参加者が日頃磨かれた技を發揮し競う方式で行われました。以下、来年の熱戦に期待し結果を報告します。

- ◆団体戦
 - 優勝 十五支部 361・4
 - 準優勝 笠懸支部 361・8
 - 三位 十三支部 363・4
- ◆個人戦(ネット)
 - 優勝 櫻井秀夫(十五支部) 69・0
 - 準優勝 小保方英児(八支部) 69・0
 - 三位 糸井佳夫(十四支部) 69・2
- ◆ベストグロス賞
 - 一般部門
 - 小保方英児(八支部) 69・0
 - シニア部門
 - 坂本 實(天田支部) 75・0

アテネ五輪 マラソン代表 諏訪利成選手 (平成7年卒業) 祝 堂々の6位入賞 おめでとう



本校同窓生が快挙達成です。平成7年土木科を卒業した(在学中陸上部所属)諏訪利成さんがアテネ五輪日本代表マラソン選手として出場し世界の並みいる強豪選手と競い6位入賞を果たしました。(特集記事へ)

アテネ五輪回顧録

元桐工陸上部・諏訪選手在校時監督
田島 義弘(昭和39年 色染科)

3月15日の代表選考会までは、補員ではという不安がかなりの部分ありました。しかし、代表に選考されてからは、かなり充実した練習が消化されたようで、7月の一連の壮行会、1ヶ月後の成田出発と諏訪選手、白水監督の表情を見て相当の自信を持っている様子を感じ、私自身安心をしました。アテネのコースを実際に見て相当きつ大変なコースである(高低差、気温)ことを実感しました。私たちは、30キロ付近で応援を予定していましたが車の規制で変更せざるを得なく、23キロ付近と37キロ付近の2カ所になりました。23キロで声をか



治道の応援団

け相当楽そうに見えたのでレース後、楽そうに走っていたと話したらイヤそままで力を使ってしまう後半走れなかつたと話しており、家に帰ってから直ぐにビデオを見ました。するとたしかに諏訪選手が言うようにスローペースのために60〜70名の選手で自分の位置取りがわからずに相当無駄な動きをしていたことがわかりました。最初から油谷選手の位置で走ればメダルも取れたようにも思われました。しかし、初めてのビック試合ですので6位入賞は大成功であると考えます。また、前半に力を使い切っても最後には上位選手を追い詰めた走りができる諏訪選手の今後をますます期待してもよいのではないのでしょうか。4年後の北京はもうありませんが、それまでの間に必ず日本新記録を樹立できると思われれます。桐工OBの皆様をはじめ、多くの人達に支援をいただき期待に背くことなく頑張っていく事と思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



優勝した桜井氏(右)

学校だより

高校生 非破壊検査資格取得について

機械科科長 教諭 田島 準 逸

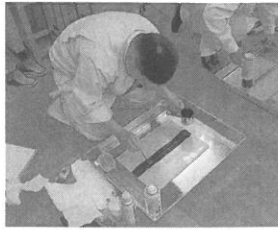
阪神淡路大震災における建物や構造物の予想以上の破損などをきっかけに、当時社会全般が安全管理について見直す必要にせまられた。こういった背景のもとで、平成11年、各種非破壊検査（今話題の超音波検査や放射線検査等）を盛り込んだ科目「安全管理技術」を機械科3年生を対象に選択科目として開講した。その中で、非破壊試験技術者資格試験も視野に入られて取り組んできた。

平成14年、新認証制度により受験資格年齢制限がなくなり、高校生の実習に非破壊試験資格取得コースを新設し、今年、全国初の高校生受験として本校生徒20名が受験した。1次及び2次試験を通して、最終的に4名が合格した。（全国の平均合格率は、約30%）現在、資格登録技術者の総数は約3万3千人を越え、非破壊試験技術者の認証制度として関連企業分野で広く認知されている。

国家資格取得について

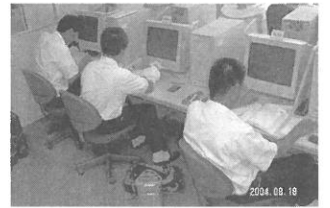
電気科 教諭 成田 浩 士

以前より電気科では第2種電気工事士、通信工事担当者などの資



格取得のための取組みをしてきた。工業高校電気科で学ぶ意義と、電気科生徒の向上心を考え

て、昨年、第1種電気工事士の指導をはじめ、3名の合格者を出した。また更なる向上を考え、昨年末より第3種電気主任技術系の指導をはじめた。専門家が受けても10%程度の合格率だが、今年度3年生が1名合格したようだ。生徒のやる気を喚起し多くの生徒に力をつけてあげたい。



平成17年度の入学生より、土木科と建築科が統合され、建設科が新設されます。この統合で本校設置科は機械科・電気科・染織デザイン科・建設科の4科となります。

学科変更

土木・建築科統合で建設科に

平成17年度の入学生より、土木科と建築科が統合され、建設科が新設されます。この統合で本校設置科は機械科・電気科・染織デザイン科・建設科の4科となります。

同窓会七十周年記念

バス寄贈にあたって

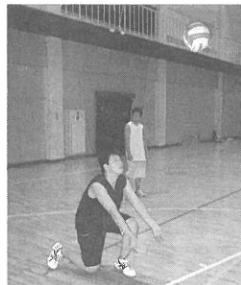
昭和62年、寄贈マイクロバスに替わり、同窓会70周年記念としてマイクロバス（排ガス規制適合車・ナビ付き）1台を同窓会より頂きました。

これで都内への遠征も可能となりました。



部活紹介

バレーボール部 主顧問 関根和俊



現在部員は1年生が8人、男子が7人で女子が1人です。監督が染織デザイン科の空井先生、コーチが数学科の桑原先生、そして顧問が英語科の関根となっております。練習は月曜から金曜まで放課後体育館で午後6時すぎまでおこなっています。週末は土曜日に午前中から練習をしています。ときどき市内の高校と練習試合をしています。とくに桐生高校の顧問の先生や部員たちにはいつもお世話になっていきます。卒業生を含む先輩達も時々練習に来て面倒をみてくれます。

事務局だより

【注意！】

架空請求・迷惑電話・不審な問い合わせが多発中です。ご注意下さい。

平成17年度版同窓会会員名簿の発行準備中です。同窓会活動・支部活動の基盤になっていきます。ご理解と協力をお願い致します。大間々支部・太田支部設立に向けて準備中です。ご協力をお願い致します。

役員改選・変更のお知らせ（会長・副会長以外）

新顧問 池田光二氏（22W・前会長）・富澤弘幸氏（新学校長）

新常任幹事（交代・補員・増員）

七支部 鈴木克彦氏（28D） 十二支部 山藤浩志氏（38D）

十四支部 川島敏雄氏（20W緑） 十七支部 粉山和雄氏（32M②）

笠懸支部 高橋肇男氏（30M②） 笠懸支部 田辺賢二氏（34E）

新支部長

七支部 堤 俊隆氏（35E） 鈴木克彦氏の後任

藪塚支部 岩下 博氏（31M②） 藤生高正氏の後任 H16・6〜8迄

藪塚支部 高橋新一氏（34M） 岩下 博氏の後任 H16・8〜

桐雷会館等管理基金相談役（新規役職・顧問と兼任）

佐藤富三氏（17W12）・五十嵐健雄氏（20D）・池田光二氏（22W）

ゴルフ役員

大会会長 八木橋祥价氏
大会副会長 藤生高正氏・篠原 章氏・野村 滋氏
大会顧問 池田光二氏・富澤弘幸氏
競技委員長 中野幸三郎氏 運営委員長 園田徳司氏

定時制バド部 3年連続全国大会出場

顧問 鈴木和彦

週2回だが、夜10時ごろまで練習し、3年連続神奈川県小田原アリーナで8月開催の全国定時制バドミントン大会に生徒を送り込むことが出来た。生徒に恵まれたことが大きな要因である。

本校生徒は男子団体ダブルスで福井と対戦した。ダブルスで1勝したもののシングルスで2つ落とし1回戦敗退だった。3日目まで残った2回戦進出の女子団体を応援し今年の夏は終わった。

全国大会と言ってもたかが定時制、たいした事はないと思っていた3日目、優勝校の東京対富山の対戦はすごかった。相手が打つ瞬間に体が動き、シャトルを打つ音さえ違っていた。生徒達も上手くなりたいと奮い立っていた。

10月に全国大会出場の県内定時制高校を集めた合宿を桐生主催でやらせてもらうことになった。生徒からの要望でもあり、少しでも群馬県のレベルを上げたいと思っている。



編集後記

今年も「桐雷」発刊の時期となりましたが、関係者の皆様には大変ご苦勞を頂き感謝申し上げます。

さて、今年度の総会に於いて池田会長が退任され、八木橋会長にバトンが渡され副会長も藤生、野村、篠原の各氏が選任され新しくスタートを切りました。

そんな中、今年度は4年に1回のオリンピックの年であり、我が母校の出身であります、マラソンの諏訪利成君が日本代表として選ばれました。また、7月14日に壮行会が実施され決意を表明しましたが、期待に違わず堂々の6位入賞という輝かしい成績を納めました。これはひとえに桐工OBの皆様方の後押しがあったことが大きかったと思います。

歴史ある桐工の同窓会が益々充実し、発展していく様に会報がお役に立てばと念じております。

祝

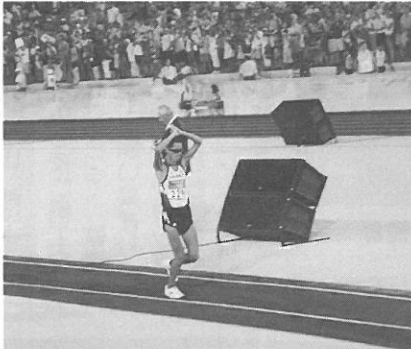
アテネオリンピック 男子マラソン日本代表 諏訪利成選手 6位入賞

2004
8.29

特集

おめでとう

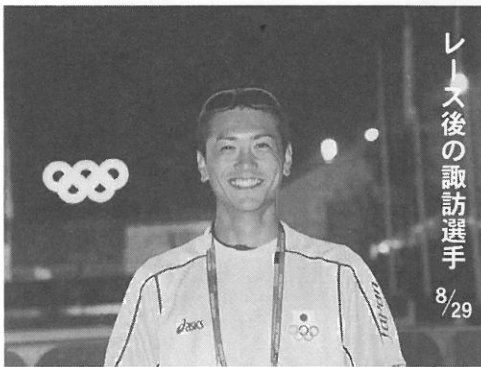
6位でゴール!!
パナシナイコ競技場



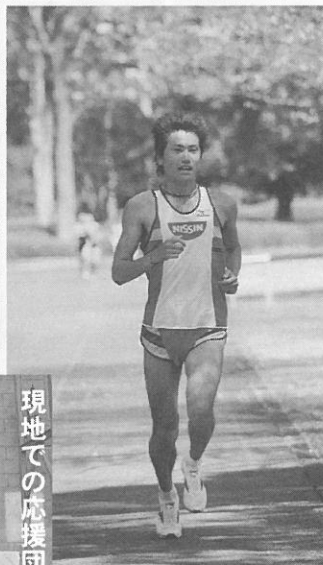
白水監督と諏訪選手



日本代表決定記者会見 3/15



レース後の諏訪選手 8/29



千葉合宿での諏訪選手 4/5



諏訪選手と富澤学校長 壮行会 7/14

【写真提供：ヤマガタ写真館】

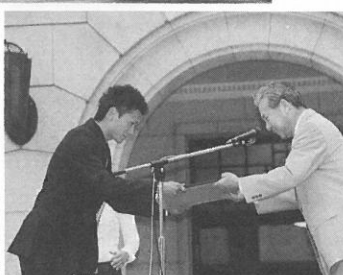


現地での応援団



応援団帰国 (成田にて)

【写真提供：日清食品(株)】



群馬県スポーツ栄誉賞受賞

小寺知事より授与

● 諏訪選手からメッセージ

このたびのアテネオリンピック男子マラソンでは、お忙しい中、私のために壮行会を開催していただき、また、レース当日は夜中にもかかわらず応援してくださいまして誠にありがとうございます。みなさまの声援に押し立て、6位に入賞することができました。これからも、さらに強くなるために、日々のトレーニングに励み、群馬でのニューイヤーズを はじめ、ひとつひとつのレースでの経験を大切に積み重ねていきたいと思います。今後とも一層の応援をよろしくお願いします。

同窓会・陸上部OB会主催の
壮行会 (市民文化会館) 7/14



同窓会八木橋祥价会長



桐工在籍当時の監督 田島義弘氏



諏訪選手応援横断幕

「出発点そして通過点」

陸上部長距離部顧問 大山能史

夏休みを締めくくる合宿最後の夜に桐工合宿所は、選手と保護者・OBによって、歓喜に包まれた。諏訪選手の活躍を願い集まり、その期待に答え両手を広げる姿がブラウン管に映し出されていた。桐工の選手たちは最後まで諦めない走りを目を輝かせ、レース終盤の自分の姿と重ね合わせていただろう。

都大路を目指す意志を再確認した出発点として、この日の気持ちを大切にしたい。そして目標達成までの通過点の一つとして着実に刻み頑張っていきたいので、今後も宜しくお願い致します。



上段左から2番目・松村監督
上段右端・大山能史顧問

諏訪選手の活躍について

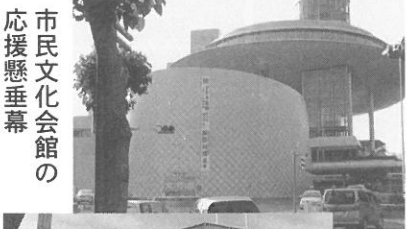
陸上部長距離部部長 3年電気科 須永 悟

昨年の12月、福岡国際マラソンで、諏訪さんは日本歴代8位となる記録で2着に入った。「五輪代表か?」という期待は膨らんでゆき、代表が決まった時、皆が歓喜に沸いた。それは同時に、桐工の陸上部を勇気づけてくれた。

NHK・諏訪選手応援取材



皆で集まり、テレビで諏訪さんの勇姿を見守った。見事6位入賞という結果で、僕たちに大きな感動を与えてくれた。これから、諏訪さんを目標として頑張りたい。



市民文化会館の
応援懸垂幕

桐生ガスのビル
の
応援懸垂幕



アテネ五輪記事掲載の新聞各紙

応援ステッカー

●男子マラソン Toshinari SUWA 選手
「目標は金メダル」 諏訪利成

諏訪選手、母校の桐工訪問



後輩から激励書き込んだ日の丸
「不安なとき、力に」

選手としての巨大な壁にぶつかり、涙を流した。後輩から激励書き込んだ日の丸「不安なとき、力に」。この言葉が、選手としての壁を乗り越えるための力になった。



日の丸を染める染織デザイン科の生徒たち
「諏訪先輩は誇り」
日の丸染め抜き激励の文字



桐工生徒 14日の五輪壮行会で贈呈
「めざせ金メダル」
「めざせ金メダル」
「めざせ金メダル」

桐生タイムス

読売新聞



応援する会 ポスター

